

Course Description プログラム 詳細

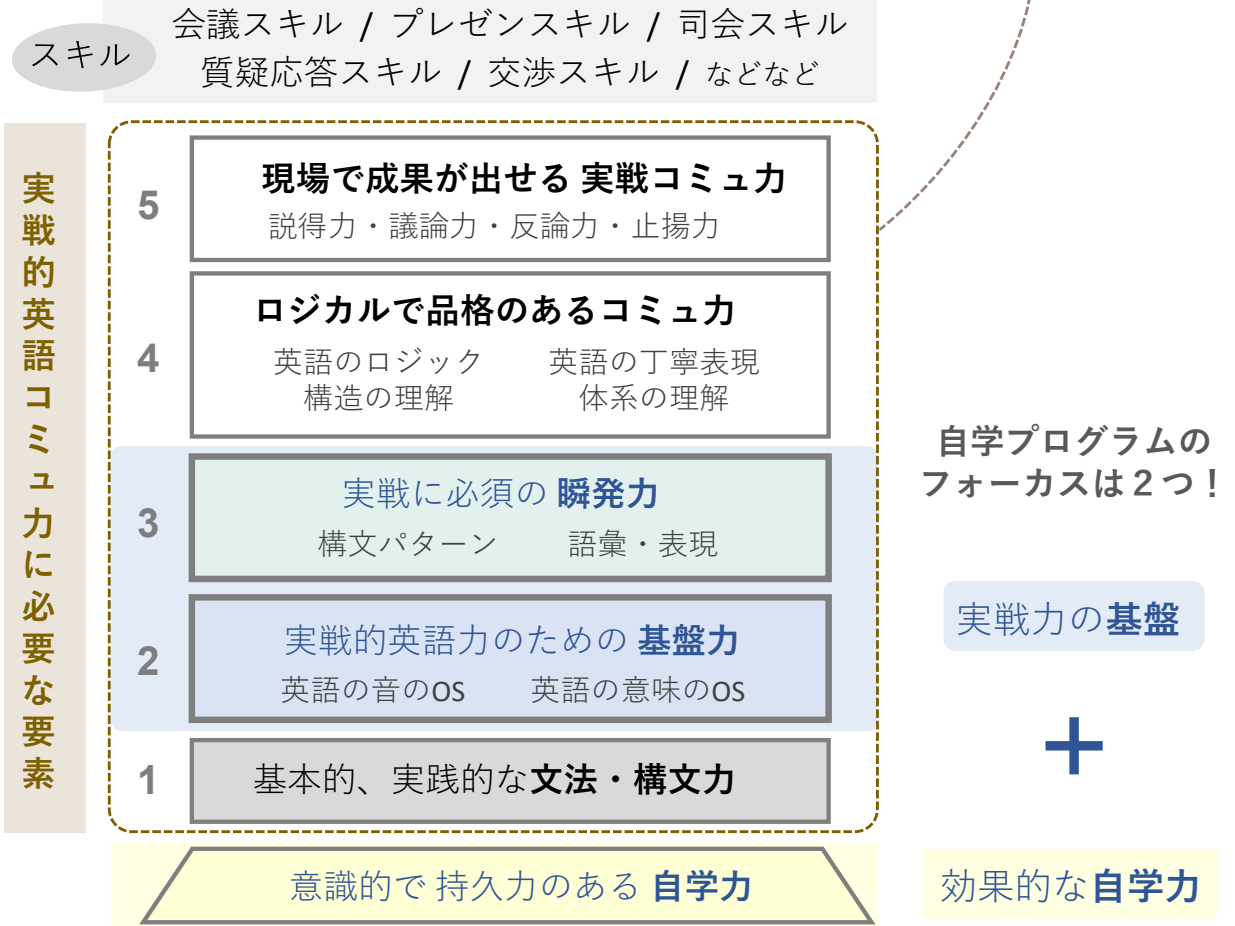
**K/H英語学習法で学んだ上級者が
実戦的な <英語の基盤力> と <質の高い自学力> を
確実に養成するための
4 カ月間 自学習プログラム**

2025 春季 プログラム資料 目次

■ プログラムの位置づけとフォーカス	1
■ プログラム・デザインの特徴	2
<英語基盤力> のための工夫 / <自学力> のための工夫	
■ プログラムの内容と教材	4
学習の進め方 / 教材 / 1カ月の学習のイメージ	
■ 具体的にしてみよう	7
学習用動画 / 講師のサポートやフィードバック	
■ 受講者の声	13
■ スケジュール・受講料・申込方法	14

K/Hシステム英語学習法は

- ✓ 全ての **スキル** の質を下支えする **本質的で汎用性のある力** にフォーカス
- ✓ **日本人にとって「必要 かつ 難しい」もの** を特に洗い出してフォーカス



このプログラムのフォーカス

- ✓ まず何よりも、**実戦力につながる 英語力そのものの基盤**

本格的な実戦力に必須の **2つの力** にフォーカス。この土台が強固であればあるほど、プロとしてビジネスで結果を出す上で重要な **4, 5** を効率的・効果的に載せられます。

- 2 **基盤力** 英語の言語としての仕組みに慣れて、**文頭から正確に聞き取る力**
- 3 **瞬発力** スピーキングや聞き取りの瞬発力を上げるための**構文パターン**

加えて、誤解のない意思疎通には必須なのに、このレベルの学習者に課題として残りがちな、**時制や助動詞のニュアンス** の感覚も磨いていきます。

- ✓ **新しい力/感覚の効率的習得に必須の 効果的な自学力**

1 から 5 まで積み上げて本格的な実戦力をつけるための、<自学力>の習得にもフォーカス。息の長いプロセスを、**効果的に、かつ、自立的に**学習していける視点と習慣を作ります。

確実に感覚を変える！ ために こんな学習



変化と手応えを十分出せる 4カ月の学習期間

- 事前課題を提出 + 1カ月1サイクルの学習を4回まわすデザイン
- <基盤力>も、<自学力>も、変化と手ごたえを十分感じられる期間の長さ



動画をガイドに学習を進めるデザイン

スマホさえあれば、
クラス並みのコンテンツをいつでも、どこでも、何度でも見られる

- 講師と共に学ぶ学習解説動画は計18時間
それを指針に、隙間時間も活用して自分の好きな時に学習
- 対面クラス同等の充実したコンテンツ
繰り返し視聴できるから、吸収度・定着度アップ



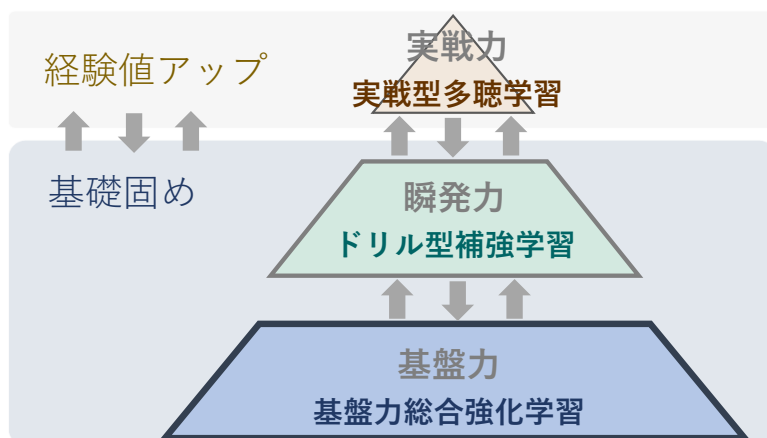
自分ではやりにくい「感覚を変える学習」をサポート

- つけたい力にしっかりと意識をして感覚にすり込めるために、
解説、学習ステップ、練習ツール、練習用音源などを多角的に工夫
- 目指すべき仕上がり感覚と、そのためのやり方が明確に分かることで、
迷いや不安なく、「感覚を変える“すり込み練習”」をやり込める



3タイプの学習の相乗効果で、効率・効果の高い学習

- 基盤力総合強化学習、ドリル型補強学習、実戦型多聴学習
3タイプの学習を毎サイクルかみ合わせた、高い相乗効果を生むデザイン
- <実戦型多聴学習>を並走させて、“訓練”したことを“応用”して経験値アップ
実戦意識の強い「基礎固め」が可能に

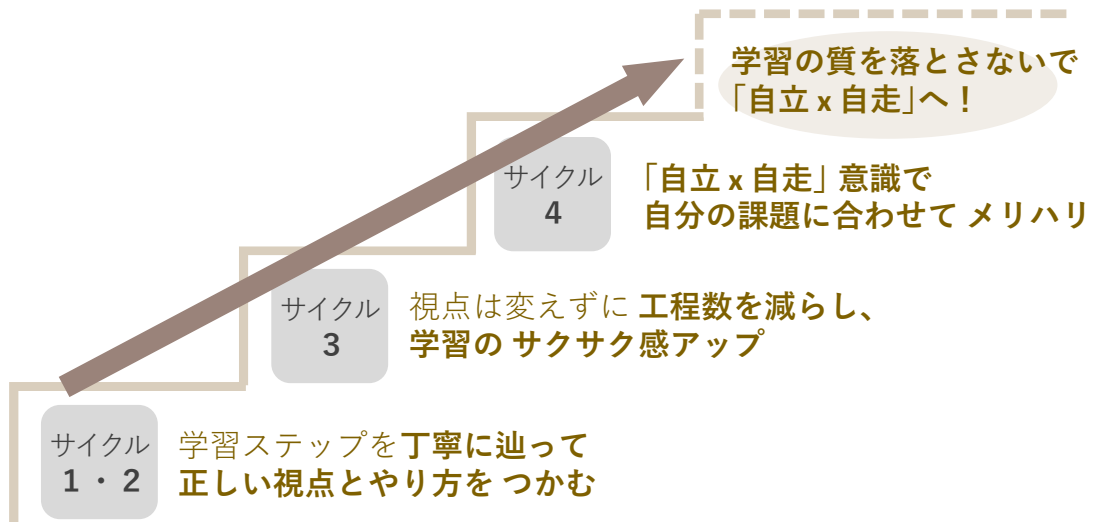


自立 x 自走できる自学力！ のために こんな学習



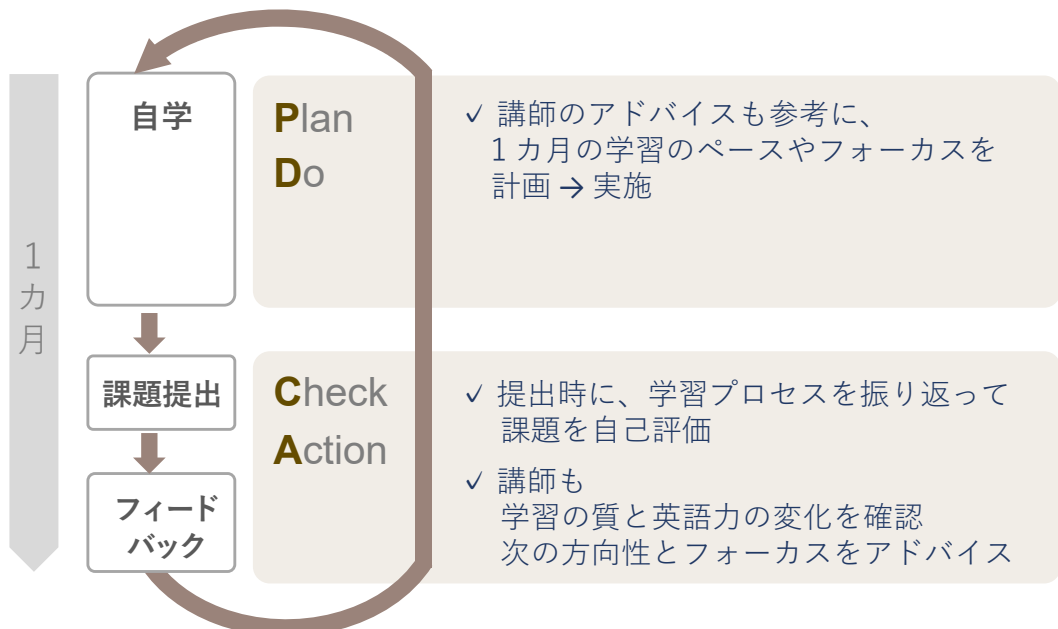
「自立 x 自走」できる自学力と学習習慣がつく！

- ガイドや解説が減っていく **発展的なデザイン**で、**安心感と手ごたえ**を感じながら「自立 x 自走」にテイクオフ
- 大事な視点は落とさないで自学できる力をつけるデザインで、プログラム後も、**学習の質を落とさないで学習を継続**



「自立 x 自走」までの道のりを迷わせない！




- 英語力の<基盤>と<自学力>の学習進捗を、**プロの目で確認！**
講師による、**個々の進捗と課題に合わせたフィードバック**を定期的に挟むことで効率的に「自立 x 自走」に向けてステップアップ
- **自分の現状と目指す仕上がりスタンダードのギャップを意識**させる構成とフィードバックによって、**PDCAの視点を持って学習**



手軽に取り組める 学習の進め方

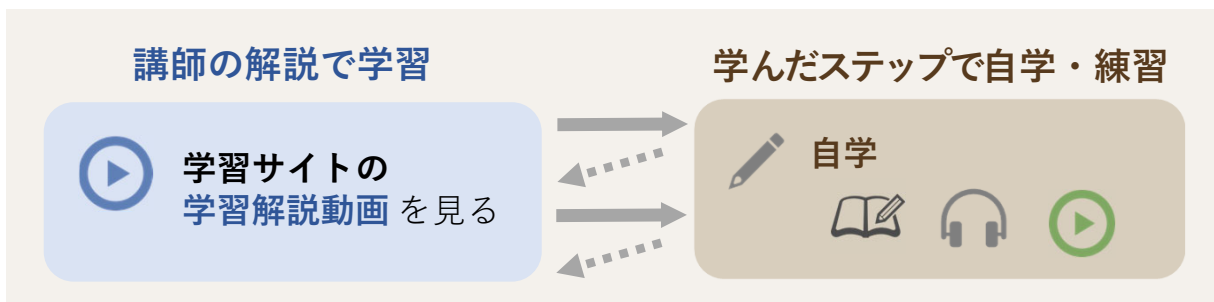
✓ これだけあれば、OK！

✓ この3つがあれば、いつでも、どこでも 学習できる！

	スマートフォン (or タブレット・PC)	動画の視聴・音源の再生
	テキスト 「総合強化学習一教材A」	学習に使う各種素材 トランスクリプトや語句解説
	カード 「学習ステップカード」	学習ステップを 手もとのカードで確認

✓ 基本の流れは、これ！

✓ 動画 → 自学の2ステップを繰り返して学習

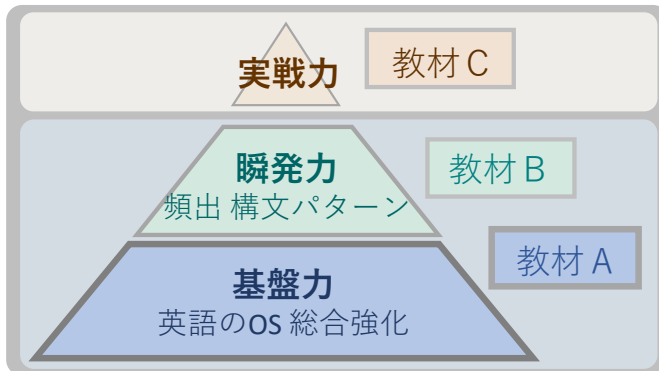


✓ <学習サイト>の動画を軸に 学習

<学習サイト>の動画を
順番に見ていけば OK！

相乗効果をねらった教材の構成

- ✓ 3タイプの学習・3種の教材で相乗効果を確保して、力を強化！



教材A モノローグ型教材

<基盤力>を総合的に強化する主軸教材。モノローグ素材を徹底的に身につける中で、<基盤力>と<自学力>を総合的に強化。どの教材も**仕事に生きるテーマ**で、使われている**パターン構文**、**語彙表現もビジネスに必須のもの**ばかり。

教材C 多聴用教材

教材A・Bにかみ合った巷の実戦的な素材を多聴し、相乗効果をねらう。**学んだことを応用して、実戦的聞き取りの経験値をアップ**。多聴を並走させることで、実戦の厳しさ、切迫感を常にイメージしながら学習できる効果もある。

教材B ドリル型教材

頻出するのに、私たちが苦手な**構文パターン**を**集中特訓**する教材。教材Aで頻出するパターンを学ぶことで、相乗効果も確保。**そのままビジネスで使える英文、語彙表現が満載**。**時制・仮定法・助動詞など<ニュアンスの基本>**もここで学ぶ。

仕事に生きる教材のテーマ

- ✓ テーマも、英文や語彙表現も、**仕事で生きるもの**ばかり
- ✓ サイクルを進むごとに、**難易度とテーマがステップアップしてより実戦的に**

	教材A 総合強化教材	教材B ドリル型補強教材	教材C 多聴素材
	トピック	学習する構文パターン	
サイクル 1	自分を売る 自分のキャリアと 経歴を語る	「船フック」のパターン 頭でっかちの「船フック」の パターン <i>時制・仮定法のニュアンスと感覚</i>	
サイクル 2	自分を売る 自分の組織について 語る	「結+詳」のパターン 頭でっかちの「結+詳」の パターン <i>助動詞のニュアンスと感覚</i>	各サイクル 教材AとBの テーマや英語と
サイクル 3	異文化に入る 日本人駐在員への アドバイス	「後ろでっかち」のパターン 「疑問詞節」のパターン	かみ合う 生の素材を紹介
サイクル 4	異文化に入る 日米ビジネス文化の 違い	「割り込み」のパターン	

1カ月の学習のイメージ

学習時間の目安：月 15 時間 前後 (週 3 ~ 5 時間)

駅まで歩く時間で、始業前の30分で、週末にカフェで...

「いつ、どこで、何をやるか」の視点で自分に合った学習リズムを作り、

1日20分30分でもよいので継続的に時間を取るのが感覚を変える秘訣です。

細切れ時間を上手に活用！

「毎日少しずつ」を継続

1カ月の学習スケジュール例

WK 1	日	動画 1 : 意味の仕込み	60分動画
	自宅やカフェで	仕込み：構文分析・語句解説 音読意味取り練習	計 4時間
WK 2	日	動画 2 : 意味の体得	20分動画
		動画 3 : 音の学習	40分動画
	電車の中で 自宅や職場で	テーマ別リスニング 100%シャドーイング	30分 / 日 30分 / 日
WK 3	日	動画 4 : 音と意味の一体化の学習	10分動画
	電車の中で 自宅や職場で	テーマ別リスニング 100% / 一体化シャドーイング	30分 / 日 30分 / 日
WK 4	自宅や職場で	一体化 シャドーイング	30分 / 日
	電車の中で	テーマ別リスニング	30分 / 日
	提出	動画 5 : 課題提出に向けて	30分作業

提出する課題はこの3つ

- 1 シャドーイング
[メイン教材 約2分]
- 2 自己評価とコメント
(1 に対する自己評価)
- 3 学習ログ

講師は、この3点を丁寧に見て

- ✓ 英語力 (基盤力が身につけてきたか)
- ✓ 自学力 (効果的な学習ができてるか)

この2つの視点から

メールで個別アドバイス

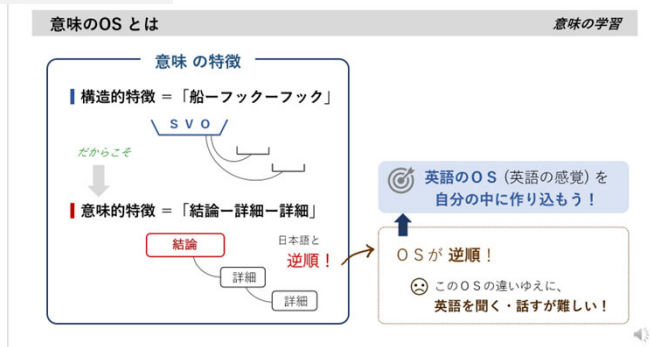
✓ 全体像と目的、次の行き先が見えて、迷わない！

- どの動画でも、学習の **大目的** と **全体地図** を必ず確認
- 次のステップへのガイドで、迷いなく学習が進められる

どこにいる - 学習地図



何を学ぶ



何のために

意味のOSを身につけよう

- 英語の意味の特徴 (意味のOS) を身に付ける利点
1. **リスニングで、後戻りせず、文頭から聞き取れる**
 英語の順で、正確にリアルタイムに意味を理解できる!
 2. **スピーキングで、文が作りやすくなる**
 英語らしい文のつくりでアウトプットできる!
 3. **長い文でも、楽に覚えられるようになる**
 文全体のつくりが見抜けて、インプットしやすくなる!

どうやって

「意味の学習」のねらい

- 「意味の学習」全体の…
- ◎ **大目的** 後戻りせず、文頭から、しっかり頭に残るかたちで聞ける! を目指す
 - ★ **メリット** 「スピード」と「正確性」を両立して聞く力がつく
- ◎ 「意味の仕込み」のねらい
 文の構造と意味、そして意味の出る順序に納得!
- HOW
1. 「構文・意味順・イメージ」3つの分析で戦略づくり!
 2. 「音読意味取り練習」で聞き取りシミュレーション!

学習の大目的と全体地図を自分で持って、
 迷いなく、飛ばしや漏れなく学習が進められる

次はどこへ



Next! この動画の後は…

- まずは、
- この動画で学んだステップで
- 意味の仕込み を全文しっかり仕上げる
- その後、
- ◎ [A-2] 学習解説 - 意味の体得 の動画を見て
 テーマ別リスニング をしっかりやり込む

ガイドで
 迷うことなく
 次の動画・次の作業へ

✓ 正しい学習法を講師と一緒にシミュレーション！

- 学習の質を決める<仕込み>を講師と体験！やり方とスタンダードをセット
- その後は、自分でやって、安心感を持って習慣作り

意味の仕込み 動画の構成	
パート1 「意味の仕込み」の全体像	・「意味のOS」の特徴 ・学習のねらい
パート2 「意味の仕込み」のやり方	・「3つの分析」のやり方
パート3 「意味の仕込み」実況中継	・「意味の仕込み」ステップ実況中継解説 ・効果を上げるためのコツ
パート4 仕上りの目安	・「意味の仕込み」の仕上りの目安

① 英文を2回読む → ② 顔をあげて、意味を言う

仕上げで聞いてみましょう！

手で「かたまり」を味わおう！

仕込みの具体的なイメージを実況中継型で講師と体験

感覚にすり込む作業も一緒にやって習慣づけ

✓ 自分ではやりにくい「すり込み練習」をサポート！

- 学習ステップと 確実に感覚を変えるコツ を 必ずセットで実践
- 「耳から」だけでなく「視覚」も使って、実践的な聞き方を体得

© K/H System

意味の体得 学習ステップ テーマ別リスニング練習

聞くときのテーマ例

細切れ時間を 毎日 or 1日おきに

- 構文を追いながら聞く
- 意味順に納得しながら聞く
- イメージを作りながら聞く

確実に感覚を変えるためのコツ

目も、耳も、体も… 五感を総動員！

- ✓ 手で 構文を「立体的」に描く
- ✓ 述語動詞 に注目して結論を意識！
- ✓ 意味の「かたまり」とそのつながりを意識して「列車聞き」
- ✓ 自分の言葉で理解を口に出してみる
- ✓ 手でイメージ化を手伝う

意識的な練習にするコツで「漫然と聞くだけ」を防ぐ

© K/H System

A-2

BONUS 練習用動画

組織の紹介

We are proud of the way we treat our customers.

We try to develop a long-term, mutually beneficial relationship with each customer where we can grow with the customer.

誇りに思ってますよ お客様との関係の築き方を

具体的には、常に目指してるんです、
長期的で
互いにプラスになるお客さんとの関係づくりを
しかも、共に成長していけるような

意味処理の構造とタイミングを「立体的」「動的」に感覚にすり込み！

© K/H System

教材 p. 25

まずアプスを消すまで、

現在形でしつこく言い続け、日本の人の関係の作り方は基本的に問題ない。話し方によって変わって来、話す人、好感を持つ

その上で問題の理解

Sometimes... 時々、言葉が通じない。関係性は改善することもあるみたい

そして最終的にアプスを

And one of the things that I encourage the Japanese で、アプスを消す。仕事関係の活動に参加するみたい

具体例でイメージあげて

whether that's ... 例えば、こんな事とか
whether that's ... こんな事とか
whether that's ... こんな事とか

最後にでエッセンスをクアアしてあげて

命令形で 僕は、地味に頑張ってる。仕事を頑張った結果を誇らなくて。

お話をしつかり理解してあげる

And when that happens, then ... それができると思ってる。仕事を頑張った、いい関係が生まれるんだ。

「話の流れ」も意識する発展的な視点でメッセージに腹落ち！

✓ 効率よく、確実に、感覚を変える！

- 感覚を変えるのに必須の練習は、自分でもできるコツに！
- 音の負荷が高めの人には、「お助け音源」で学習効率アップ
- 「音とリズムのため」を超えて、実戦力をつけるための発展的視点も

効率よく感覚を変えられる
練習のコツを習得！

[A-3] 音の仕込み～体得

【音】の仕込み／体得

- ➡ ダウンロード：音源 [A-3-1_教材A シャドーイング用]
- ➡ ダウンロード：音源 [A-3-HELP1_教材A ポーズ入]
- ➡ ダウンロード：音源 [A-3-HELP2_教材A 少しゆっくり+ポーズ入]

スピードとポーズを調整した
「お助け音源」で
不要な負荷を減らして練習

「リズムがつかめた」を超えて
実戦で「聞き取れる・使える」に

テーマ別で練習

最後は実戦につながる力に

✓ <一体化>で実戦力になるまで仕上げる！

- 学習ステップと確実に感覚を変えるコツを必ずセットで実践
- 「仕上りの目安と数値での自己評価」で仕上りのスタンダードをセット

意識的な練習にするコツで「漫然とシャドーイングする」を防ぐ

© KH System

音と意味の一体化 学習ステップ

テーマ別一体化練習

一体化シャドーイングのテーマ

- 1 「イメージと意味順」を意識して文を組み立てる感じで
- 2 「拍」をしっかり入れてメッセージをハイライト
- 3 スピーカーになりきってメッセージを伝えるつもりで

確実に感覚を変えるためのコツ

- ✓ 「イメージのかたまり」を足して自分で文を作っていく！
- ✓ [強] のところで弾いてそこにメッセージを乗せる！
- ✓ 目の前の相手に自分が伝えている意識で！
- ✓ 視線・表情・自然な動きも意識

仕上りのスタンダードをつかみ、やり込み不足を防ぐ

© KH System

一体化の学習

「一体化」仕上りの目安

自分がそのメッセージを伝えるために文を作って、話している感覚で
間を空けても、安定して余裕のあるシャドーイングができる

✓ 「質」をチェック！

- ✓ 「かたまり」で文を作ってる感覚で
- ✓ メッセージとリンクしたリズムのメリハリがあり
- ✓ 自分が伝えている感覚で生き生きとシャドーイングできる！

✓ 「定着度」をチェック！

数日空けても…

- ✓ 意味があやふやにならず
- ✓ 英語的なリズムが崩れず

© KH System

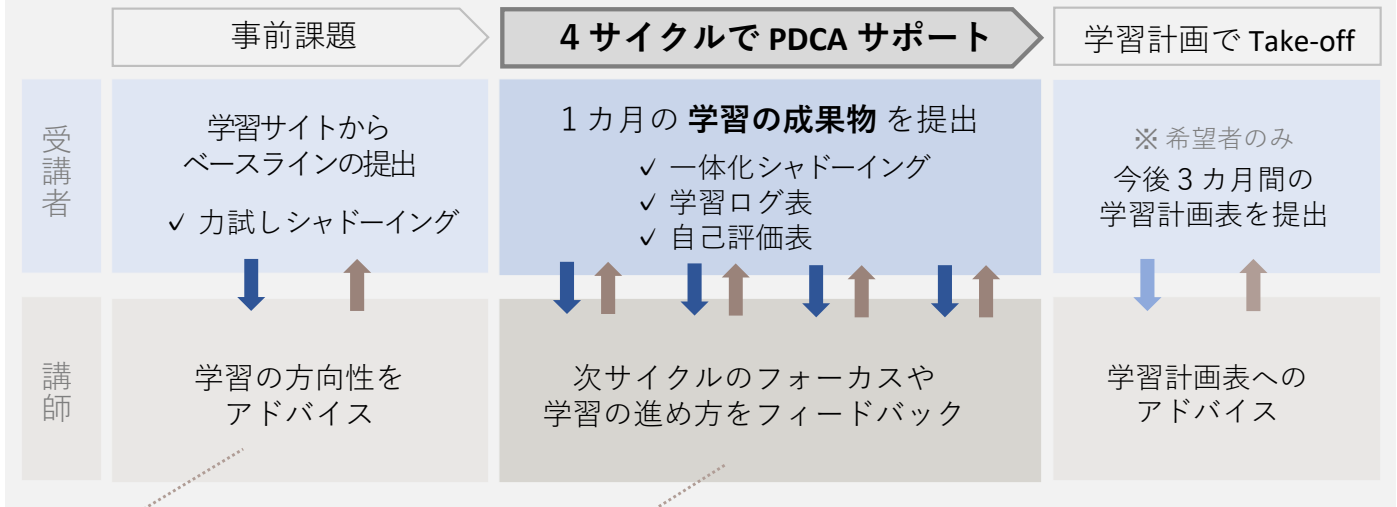
提出 1 <自己評価表> シャドーイングと学習プロセスを自己評価する

結果 シャドーイングの仕上がり进行评估
4つの評価項目の4段階評価を入力

評価項目	4	3
a. リズム感	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
b. かたまりの一息感	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
c. 文を組み立てている感覚	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
d. 自分が伝えている感覚	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

4…楽にムラなくできる！仕上がった！
3…少し負荷が残るが、もう少しで仕上がる
2…まだやり込みが必要
1…練習し始めたところ

効率よくステップアップしていくための講師による方向調整



最初の一歩から正しい方向に進めるように！
英語力のタイプやニーズを見て学習の大きな方向性をアドバイス

仕上がりレベルと課題に合わせて方向調整！
英語力の<基盤>と<自学力>の視点から評価とフィードバック。
個々の課題に合わせた指針が得られます。

事前課題へのアドバイス例

- **よかった点**
事前課題の段階で、ネイティブのスピードで、英語的な抑揚をとらえてシャドーイングできるだけの英語の音への慣れと語彙表現の基本ストックがあるようです。また、音・リズムについても、語尾が重くなるなどの不要な力みが少ないことも強みです。英語の音・リズムの感覚をつかむのは早いのではないかと印象を持ちました。
- **学習のフォーカス**
定型句への慣れを増やそう
ミスの傾向として、サクッと速いスピードで言われる語彙や定型句で特に単語が抜けるようです。その原因として、(A) 語彙/表現そのものを知らない または (B) その表現に音としてなじんでないことが考えられます。(A) に該当する表現は、<意味の仕込み>で、✓ 語句解説をよく読んで、表現の使いどころやニュアンスまで理解することを特に意識する。その上で、(A) (B) とも、✓ 「かたまり」で「リズム」ごと、表現を身につける意識も持って、[シャドーイング] や「テーマ別リスニング」をしましょう。
意味のまとまりを特に意識しよう
意味のまとまり感が薄く、フツフツと単語単語で切れた感じになっています。リスニングで、大きな「かたまり」で意味を処理する感覚が身につくにつに、スピーキングでは、聞き手の聞き取りの負荷が上がって、伝わりにくくなります。<意味の学習>では、✓ 単語単位でなく、意味の「かたまり」単位で英語をとらえることを特に意識。<音の学習>では、✓ 特に「[弱] が弱」ところに注目してよく聞いて、どんな音になって、どんなふうにつながっているかなどを耳で分析すること ✓ 「かたまり」は一息でなめらかにアウトプットすることを特に意識しましょう。

各サイクルの講師フィードバック見本

■ **学習全体へのコメント**
サイクル2の提出、ありがとうございます。今回もたくさんの時間を、コンスタントに割いて学習を進めてくださったようです。『時刻』や『通勤』の動画を再視聴するなど、『教材B』の学習にもより多くの時間を割いたり、教材Aの部分練習により多くの時間を割いたり、ニュースや課題に合わせて時間の使い方を工夫されているようです！フォニックスのリンキングの勉強も生きている感じがしますね。

	自己評価	リスニング	シャドーイング	発音	リスニング	発音	リスニング	発音	自己評価	十分な仕込み	目標達成率	目標達成率
自己評価	37	3	3	3	2	7				-	-	-
講師	3	3	2.5	2	3					3	3	3

⇒ **特によかった点**
全体的に英語的なリズム感が改善
強弱の発音の感覚、リズム感、かたまり感、大きく改善。HELP版の音源の活用が非常にプラスになっている印象です。全体的に余裕を持って、英語らしいリズム感とかたまり感でできているようになって、まだそれができない部分が一部残る、というように大変なところと苦手部分がクリアに分かれてきた感じで、これは大きな前進です。実践では聞き取りと速い、アウトプットはある程度自分のスピードで行けるので、引き続き、「聞き取り」と「アウトプット(シャドーイング)」で目標の戦略を分けて、リズム感を身につけていきましょう。

□ **このサイクルの仕上がり**
この教材は、一旦卒業です。苦手部分が一部残って、総評としては上のような評価ですが、苦手部分の課題も、これらの2サイクルの練習で改善されていると思うので、次のサイクルの教材に進んでください。

■ **次のサイクルの方向性と調整点**
学習のペースづくりや習慣化は素晴らしいですね！基本的なやり方はこれまで通りでOK。ただ、効率的に感覚をつかむために、次の2点を振り返り入れてみてください：
(1) 原因に引き続き、シャドーイング練習は HELP 2 → HELP 1 の音源を使う (2) 「一体化」の学習の最初の頃は、<一体化シャドーイング>と並行して<一体化リスニング>をやってみる (詳細は以下)

⇒ **次回、特にフォーカスするポイント**
もう一息、自分が「話す英語」と「意味」とを一体化しよう
「自分の英語になっている感覚」まで一体化して仕上げる上で、特に苦手な文については、もう一息、「自分が話す英語」と「意味」とをくっつけたいですね。一体化の最初にく一体化シャドーイングと並行して、<一体化リスニング>をやってみてください。「音読」での一体化を入れることで、自分のペースで、「口から出す英語」と「意味」をしっかりくっつけていけると思います。<一体化シャドーイング>の仕上がりも意欲も高くなると思います。
■ **練習のコツ アドバイス**
作業としては、「意味を考えたがら音読」ですが、以下が効果を上げるためのポイントです：

学習ログ表見本

		WEEK 2							WEEK 3							WEEK 4							合計				
項目	達成率	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
1. 意味の仕込み	100%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2. 音の仕込み	100%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3. 音の仕込み	100%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4. 音の仕込み	100%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
5. 音の仕込み	100%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6. 音の仕込み	100%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7. 音の仕込み	100%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
8. 音の仕込み	100%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
9. 音の仕込み	100%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
10. 音の仕込み	100%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
11. 音の仕込み	100%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
12. 音の仕込み	100%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
13. 音の仕込み	100%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
14. 音の仕込み	100%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
15. 音の仕込み	100%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
16. 音の仕込み	100%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
17. 音の仕込み	100%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
18. 音の仕込み	100%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
19. 音の仕込み	100%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
20. 音の仕込み	100%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
21. 音の仕込み	100%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
22. 音の仕込み	100%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
23. 音の仕込み	100%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
24. 音の仕込み	100%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
25. 音の仕込み	100%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
26. 音の仕込み	100%	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●



受講者の声

「教材はもちろん、想像以上にフォロー体制が充実しており価格以上の満足感でした。また、学習ログを使用した進捗管理や学習の進め方のアドバイス、さらにはプログラム終了後の自学へのアドバイスなど、フォロー内容が素晴らしいです。」

「終了後も伴走なしで自学学習ができるよう、徐々にサポート(動画の量、メール)が減っていくなど、最初に目的の明確化と道筋をしっかりと示して下さり、実際にその変化を体感できた。学習において迷いがなくなり、ありがたかった。」

「このコースは瞬発力・実戦力が必要な人には必須アイテムだと思いますし、効果的な練習ができていのかどうかを自己分析するのは(シャドーイングのミスの個数は数えられても)かなり難しいことだと思いました。自己分析、自己診断が甘いまま自己流の練習を積み重ねて変な癖を固定させてしまう前に極力早めにプロのチェックを受けてから練習を積み上げた方がいいと思いました。」

「自分の目標感や現状のタスクの達成状況などに応じて、取り組める教材のバリエーションが豊富で量が多いので、「少し余裕ができたなら、教材BやCもチャレンジしよう」とか、「今仕事が忙しいから最低限教材Aをやろう」と言った形で選択的に負荷を掛けられるので良かった。また、学習ログや定期的な掲示板のメッセージなど、モチベーションを継続させるフォローもあったので、うまく時間を捻り出しながら4か月間継続することができたところは良かった。」

「英文をいろんな視点で分析できるようになって、深く理解できるようになった。また、発音も強弱も意識できるようになりメリハリがつくようになった。リスニングも以前より楽に音が拾えるようになり、また、聞きながら意味を追うのも楽になった。」

「自走できるレベルに到達できるように適切なプログラムが組まれていると思います。また毎月課題を提出→フィードバックを受けるプロセスで良いところ、改善すべきところを客観的に把握できる点が良かったです。」

「教材はもちろん、想像以上にフォロー体制が充実しており価格以上の満足感でした。また、学習ログを使用した進捗管理や学習の進め方のアドバイス、さらにはプログラム終了後の自学へのアドバイスなど、フォロー内容が素晴らしいです」

「テキストがとても充実していた。また、長年のノウハウが詰まった素晴らしいテキストに加えて、動画の解説でより一層深く理解することができました。」

「大変質の高い英語教材だと思います。特に動画は、何回も視聴できて、学習しながら見る度に、新しい気づきがありますね！」

「リスニング力のアップを感じる(特に、音を確実に取れるようになってきたと感じる)。また、4ヶ月実践できたので、体感として学習方法が身についた印象あり。」

「実際の自分のシャドーイング録音からフィードバックをただただ、具体的なアドバイスをいただけることの効果ははかりしれないと実感しました。書籍、公開講座ではまだピンと来てなかった“仕上がり目安”が実感として明確になったと思います。やっていると、していない部分。できていると、できていない部分。分かったと、分かっていない部分。そういうものがたくさんあったことにも気づかされました。」

スケジュール



プログラム期間： 2025年 5月19日頃～ 9月末

- ・ 5月26日(日)で簡単な事前課題を提出し、学習方向性のアドバイスを受けた後、
- ・ 6月初めからサイクル1の学習スタート。1か月間動画をガイドにして学習を進めたら、
- ・ 各月の28日に課題を提出。講師のフィードバックを参考に、次サイクルの学習を進める。
- ・ この1サイクル1か月の学習を計4サイクル回す。

受講料

受講料 ￥88,000 (税込・送料込)

海外在住の方：\$800.00 (国際送料込)

受講料には、以下のもの全てが含まれます：

学習サイト使用料／学習解説動画 視聴(約18時間分)／教材(合計12冊)／教材付属音源／
講師によるアドバイス(計5回 事前課題+提出課題4回)／
講師によるQ&A対応／その他補助資料

お支払いは、銀行振り込みでお願いします(海外在住の方はPaypal)。

振込先については、申込手続き後に送信される<申込受付メール>を確認してください。

申込方法・プログラム開始までの流れ

申込方法 以下のURL <申込フォーム>からお申込みください

国内在住 https://www.kh-system.training/kh_system_gsp_form_jp

海外在住 https://www.kh-system.training/kh_system_gsp_form_os

* [受付開始]：3/17(月)～ [締切]：国内5/1(木)／海外4/24(木)

ただし、定員になり次第、受付終了します

申込後の流れ 申込からプログラム開始までのスケジュールは以下の通りです

5月																	
14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
								教材 パッケージ 到着		事前 課題 取り 組み		★ 事前 課題 提出				学習 アド バイ ス 返却	サイ クル 1 学 習 開 始